

令和2年度事業報告書

(2020(令和2)年4月1日から2021(令和3)年3月31日まで)

【当期活動の概要と今後の対応】

1. メイクボランティア活動 (P1)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度のメイクボランティア活動はほぼすべて中止となった(一部地方での実施を除く)。

メイクボランティア活動を見合わせたため、メイクボランティア講習会の開催も見送った。講習会にて新規入会者が増えていた関係で今年度の新規入会者は著しく減少し、入会者が退会者を上回ったため会員数は大幅に減少することになった(当年度の会費納入済み正会員数は308名(前年比57名減))。

会員の関心を繋ぎとめるため、コロナ禍での施設訪問及びメイクの実施方法を明示した「メイクボランティア感染拡大防止ガイドライン」を作成し、会報誌等により周知を図った。

2. 調査研究活動 (P1)

「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」について追加の報告書を準備中。

3. 普及啓発活動 (P1~P2)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、大人数が一堂に会するシンポジウムは中止し、代わりとして、会場及びオンラインを併用した小規模のセミナーを2回開催した。来年度もこの小規模セミナーを2~3ヶ月に1回のペースで開催予定。

4. 情報誌発行业 (P3)

年4回の会報誌発行・ホームページでの情報発信を行った。今後も継続する。

5. メンタルメイクセラピスト®資格認証事業 (P3~P5)

令和2年5月に予定していた第2回4級試験及び3級試験は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために延期した。その後、4級試験は7月に振替試験を行ったが、メイクの実技試験を伴う3級試験については中止とした。今後の検定試験実施について、具体的な日程等は未定。4級については5月よりWEB検定を開始している。

また、昨年度3月より延期となっていた第3回1級者研究会を7月に開催した。この回からは、1級者や当法人の会員以外でも参加できることとした。この形式が上述の小規模セミナーに発展している。

昨年度に発行した「実技テキスト」に続く「学科テキスト」については、来年度の発行を目指して準備を続けている。

1. メイクボランティア及びメイクボランティア講習

(1) メイクボランティア

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月末よりメイクボランティア活動を停止している。当年度中の再開に向けて準備していたが、2度にわたる感染者数の増加と緊急事態宣言の再発令により、今年度の再開は見送った。

実施できたメイクボランティアは、感染状況が比較的落ち着いた地域（高知県）において、8月・9月各1回、10月2回、11月1回の計5回であった。施設や訪問者（ボランティア）と相談・調整のうえ、感染対策を行って実施した。個人による施設訪問で、参加人数は1名（延べ5名）、施術対象人数は延べ21名であった。

(2) メイクボランティア講習会

メイクボランティア訪問を停止したため、今年度は講習会開催もすべて見合わせた。

なお、前年度3月から延期されていた講習会についても、今年度中の振替開催の目途が立たず、12月に中止を決定し返金対応を行った。

(3) メイクボランティア活動再開に向けて

- 「メイクボランティア感染拡大防止ガイドライン」を作成、会報誌（第57号）に掲載し、会員や関係者に周知をはかった。
- ガイドラインに基づき、感染防止対策を施した「新しいメイクボランティア方法」について、講習会形式の動画制作を予定している。
- 施設訪問について再開時期は未定。感染状況に鑑み、また訪問先やボランティア等と調整の上で、適当な時期の再開を目指す。

2. 調査研究活動

(1) 「化粧品によるストレス軽減効果に関する長期的観察」

調査の継続について検討しているが、今年度は新型コロナウイルスの関係もあり、特に積極的に継続について働きかけることはしなかった。

(2) 「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」(文化学園大学応用健康心理学研究室 精神保健学 佐藤浩信准教授との共同研究)

施術者側の変化に関する報告書、被術者側の時系列変化に関する報告書が提出される予定。なお、調査研究を行っている施設でのメイクボランティアも中止になったため、今年度のデータ収集は行っていない。

3. メイク講座・セミナー・講演

(1) 大阪府立福井高等学校での講演

内容：「人権学習」において、メイクの効果、メイクの仕事について紹介

日時：令和2年10月1日（木）10：40～12：30（※50分の講演を2回）

会場：大阪府茨木市西福井 3-33-11

対象者：2年生 59名

1回目：33名（女子23・男子10）、2回目：26名（女子20・男子6）

講師：会員 尾田由紀子

4. 公開講座・シンポジウム

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、毎年行っている100人規模のシンポジウムは中止した。代わりとして、「顔と心と体」をテーマとして、化粧や医療などを含む多方面の分野の専門家を招いて、幅広く外観やメイクについて考える機会を提供する、会場およびオンラインを併用した小規模のセミナー（顔と心と体セミナー）を2回開催した。

(1) 第1回「顔と心と体」セミナー

日時：令和2年10月3日（土）13：30～16：00

会場：東京都新宿区四谷3-12 丸正総本店ビル6F

ワイム貸会議室 四谷三丁目 ルームE

参加：37名（1級資格者4名、3級資格者8名、4級資格者7名、当会正会員12名、一般5名、顧問1名）（会場8名、オンライン29名）

講演者：百武朋（特殊メイク・特殊造形・キャラクターデザイナー）

「傷を作るメイク」

春日武彦（成仁病院 名誉院長）

「ストレスを手なずける

～コロナ・個人的悩み・メイクセラピーを受ける人」

(2) 第2回「顔と心と体」セミナー

日時：令和3年1月30日（土）13：30～16：00

会場：東京都新宿区四谷3-12 丸正総本店ビル6F

ワイム貸会議室 四谷三丁目 ルームE

参加：50名（1級資格者4名、3級資格者10名、4級資格者7名、当会正会員18名、学生8名、一般2名、顧問1名）（会場5名、オンライン42名、DVD3名（※後日視聴））

講演者：理事長 内田嘉壽子（かづきれいこ）

「近況と今後の活動に向けて」

西田佐奈江 様（メンタルメイクセラピスト®検定1級資格者）

「コロナ禍で選んだ道・介護施設の現場から」

籾内佐斗司 先生（彫刻家・東京藝術大学大学院教授 同学副学長）

「ほとけの顔もなんとやら 造られた地域で変わる仏像の顔」

5. 情報誌等発行事業

(1) 会報誌の発行：第56号（5月）、第57号（8月）、第58号（11月）、
第59号（2021年2月）

(2) ホームページで当法人の概要・事業活動報告などを掲載

(3) メンタルメイクセラピスト®検定専用ホームページで検定情報などを掲載

6. メンタルメイクセラピスト®資格認証事業

(1) 制度の周知を図るための活動

1/16 株式会社シーエイチシー（河北病院の関係会社）

3/15 きずときずあとのクリニック 豊洲院

(2) 資格認証試験実施のための活動

① 公式テキスト（学科編）を作成中、来年度の発行を目指す。

② 第2回4級試験

令和2年7月26日（日）※5月9日（土）予定の振替開催

場所：REIKO KAZKI 東京サロン（3名） 大阪サロン（2名）

応募総数：7名 受験者数：5名 受験者の男女比：男性0 女性5

受験者の平均年齢：54.2歳

関係者・一般：関係者5名・一般0名

合格点：35問中25点（問題の難易度、偏差値等を勘案し、合格点を調整）

合格者数：5名 合格率：100%

平均点：28.00 最高点：33

③ 第2回3級試験：

令和2年5月30日（土）に予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大状況に鑑み延期。12月に今年度中の振替開催は困難と判断し中止を決定。申込者には返金対応を行い、全員返金済み。

④ 4級WEB検定試験の開始・運用

令和2年5月18日（月）より、4級WEB検定試験の運用を開始した。一時中断（8月11日から9月15日まで）したが、これまでに延べ23名が受験し、13名が合格した。

申込者数：23名 申込者の男女比：男性1 女性22 ※再受験、再々受験含む

申込者の平均年齢（回答ある22名）：36.8歳（最高齢：62歳 最若年：19歳）

関係者・一般：関係者11名・一般12名

受験者数：21名

合格点：35問中25点（問題の難易度、偏差値等を勘案し、合格点を調整）

合格者数：13名 合格率：61.9%（※繰り上げ合格を含む）

平均点：26.3 最高点：34

再開後（9月16日以後）の受験者は7名。イベントがなく広報の機会がない。3級試験ができないので、4級受験を動機づけるのが難しい。

なお、第2回4級試験申込者で、WEB検定への受験に振替え希望者の内2名が未受験。

預かっている受験料については引き続き来年度へ持ち越す。（対象者には連絡済み）

(3) メンタルメイクセラピスト®1級者第3回研究会（※3月1日予定の振替開催）

内容：メンタルメイクセラピスト®1級者ならびに3級者を対象にした研究会の開催。外部講師による講演、資格者同士の情報交換等により、各自のレベルアップの機会を提供する。（資格更新の条件）

第3回より、今後メンタルメイクセラピスト資格取得を目指す当会会員の他、会員以外の一般の方も参加可能とした。

当初は前年度3月1日に予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。延期後の開催については、会場・オンライン併用で開催。

日時：令和2年7月12日（日）13:00～15:00

会場：東京都新宿区四谷3-12 丸正総本店ビル6F

ワイム貸会議室 四谷三丁目 ルーム B

参加者：28名（1級資格者5名、3級資格者10名、当会正会員9名、一般4名）（会場10名、オンライン18名）

講演者：佐藤浩信（文化学園大学 現代文化学部応用健康心理学研究室 准教授）

「社会的支援を必要とする高齢者へのメイクアップを用いた高齢者・支援者双方のQOL向上の試み」

藤井達也（医療法人社団嬉泉会 春日部嬉泉病院 内科部長）

「感染症の原因と対策～新型コロナウイルスを中心に」

7. その他当法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 通常社員総会

日時：令和2年6月18日（木）18：15～19：00

場所：REIKO KAZKI 東京本社

報告事項：2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業報告の内容報告の件

決議事項：第1号議案 2019年度年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類及び財産目録承認の件

第2号議案 理事9名及び監事2名選任の件

(2) 理事会の開催

① 令和2年5月25日（木）※オンライン開催

I. 決議事項：第1号議案 入会申込者審査の件

第2号議案 2019年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告書及び計算書類及びこれらの附属明細書、並びに財産目録承認の件

第3号議案 理事候補者9名及び監事候補者2名選定の件

第4号議案 通常社員総会招集の件

第5号議案 顧問選任の件

II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件

② 令和2年6月19日（木）※オンライン開催

I. 決議事項：理事長（代表理事）選定の件

II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件

③ 令和2年10月29日（木）※オンライン開催

I. 決議事項：なし

II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件

④ 令和3年3月11日（木）※オンライン開催

I. 決議事項：第1号議案 令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）事業計画（案）及び収支予算（案）等承認の件

第2号議案 有限会社かづきれいことの転貸借契約締結の件

第3号議案 当法人の主たる事務所移転の件

第4号議案 謝金規程改定の件

第5号議案 顧問2名追加選任の件

II. 報告事項：理事長の職務執行状況報告の件

(3) 正会員へ会費納入の案内発送

5月・8月・11月・2021年2月の会報誌の発行と併せて実施

(会費納付会員数：308名 令和3年3月31日現在)

(4) 内閣府公益認定等委員会事務局の定期立入検査（令和2年10月8日）

3月16日より延期になっていた立入検査について、10月8日に行われた。

(5) 主たる事務所の移転

3月6日、主たる事務所を「東京都新宿区左門町20番地 四谷メディカルビル5階」に移転。

3月11日、理事会承認

3月16日、登記完了

8. 活動財源

寄附金、会費等を充当した。

以 上

事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

以 上

決算報告書

自 令和 2 年 4 月 1 日

至 令和 3 年 3 月 31 日

公益社団法人 顔と心と体研究会

東京都新宿区左門町 20 番地

四谷メディカルビル 5 F

貸借対照表

令和3年3月31日現在

公益社団法人 顔と心と体研究会

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	6,089,197	4,631,856	1,457,341
未収金	132,000	93,000	39,000
未収蔵品	0	5,000	-5,000
貯蔵品	4,584	4,584	0
商標	1,716,032	1,718,754	-2,722
流動資産合計	7,941,813	6,453,194	1,488,619
2. 固定資産			
(3) その他固定資産			
ソフトウェア	322,220	404,489	-82,269
商標	437,204	507,157	-69,953
その他固定資産合計	759,424	911,646	-152,222
固定資産合計	759,424	911,646	-152,222
資産合計	8,701,237	7,364,840	1,336,397
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	784,684	995,503	-210,819
前受金	34,100	179,800	-145,700
前受金	484,000	579,000	-95,000
預り金	0	0	0
流動負債合計	1,302,784	1,754,303	-451,519
負債合計	1,302,784	1,754,303	-451,519
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計		0	0
2. 一般正味財産	7,398,453	5,610,537	1,787,916
正味財産合計	7,398,453	5,610,537	1,787,916
負債及び正味財産合計	8,701,237	7,364,840	1,336,397

財産目録

令和 3年 3月31日現在

公益社団法人 顔と心と体研究会

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金	手元保管 普通預金 三菱UFJ銀行 郵便局	運転資金として	56,650	
	預金		運転資金として	6,032,547	
					3,240,029
					2,792,518
	未収会費		正会員に係る未収分	132,000	
	未収金		事業収益に係る未収分	0	
貯蔵品	切手在庫	4,584			
商品	書籍・ピンバッジ在庫	1,716,032			
流動資産合計				7,941,813	
(固定資産)	ソフトウェア	会計ソフト メンタルメイクセラピスト他		322,220	
	商標権			437,204	
固定資産合計				759,424	
資産合計				8,701,237	
(流動負債)	未払費用	(有)かづきれいこ他	事業に係る経費未払分	784,684	
	前受金		検定料、講座参加費等	34,100	
	前受会費		令和3年(2021年)度会費	484,000	
流動負債合計				1,302,784	
負債合計				1,302,784	
正味財産				7,398,453	

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品、商品については個別法による原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
商標権、ソフトウェアについては定額法によっている。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	411,345	89,125	322,220
商標権	699,528	262,324	437,204
合 計	1,110,873	351,449	759,424

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書(損益計算書)には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第33条に規定する附属明細書「貸借対照表及び損益計算書の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。